

## CONTENTS

### 05 研究室探訪

#### 臨床心理学は 人間相手の実践学

心理学科 安立 奈歩准教授

### 06 クローズアップ 梶大生

#### 自分にしか 表現できない漫画を

表現文化学科 3年 本多 礼奈さん

### 12 就活NOW!

#### 私の就活奮闘記

人間関係学科 4年 上村 萌衣さん

### 15 OG INTERVIEW

#### 名古屋大学 医学部附属病院

看護学科卒業  
香田 有里さん

## 特集

その時、あなたは生き残れますか？



「その時」は、明日かも知れません。

2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震など、大きな災害が頻発する日本。私たちが暮らす東海地方も決して他人事ではありません。自然災害そのものを止めることはできませんから、一人ひとりが防災対策をしておくことで、被害を最小限にとどめることが大切です。たとえ明日「その時」が来ても、冷静に、的確に行動できるように。

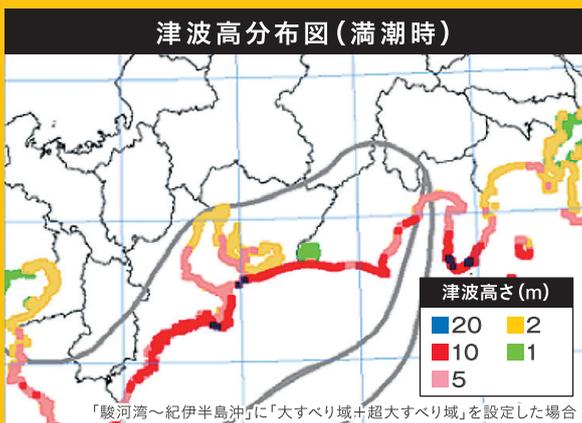
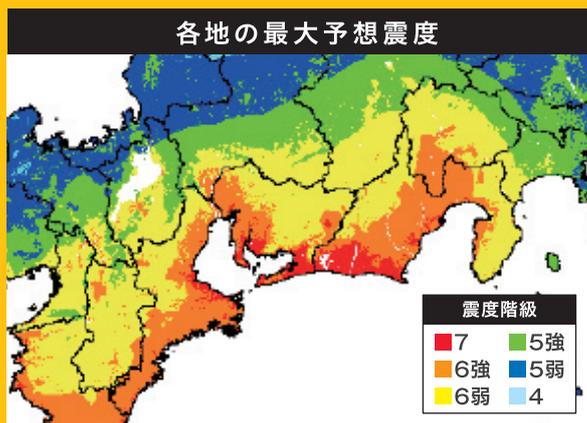
今回は、特に地震に重点を置いて、あなたの命を守る防災対策を考えていきましょう。



その時、あなたは生き残れますか？

# 南海トラフ地震 被害想定

今、最も注意すべきは、静岡県から九州までの広い震源域で連動して起こる南海トラフ巨大地震。その被害は、東日本大震災をはるかに超えると想定されています。内閣府は、今後30年に70%の確率で南海トラフ地震が発生すると発表しています。



最大級の地震が発生した場合、静岡県から宮崎県までの地域の一部で震度7になる可能性も。

関東から九州にかけての太平洋沿岸には10m超の津波が。避難場所や経路など事前の確認が大切です。

建物全壊および消失

最大約 **239万棟**

予想死者数

最大約 **32.3万人**

予想経済被害

最大約 **220.3兆円**

予想避難者数

最大約 **950万人**

参考：内閣府「南海トラフ巨大地震対策について(最終報告)」

# 大の防の災の取の組のみ

万一の災害時に学生の安全を守るのは、本学が最も重視している課題。  
日頃から各部署が連携し、さまざまな面から防災対策に取り組んでいます。

いつ起きてもおかしくない南海トラフ地震です。これに備えて本学では施設において、耐震対策を計画的に実施しています。直近では、大学会館の天井耐震工事があげられます。また、防災意識の向上をはかるため、年1回は学部ごとに防災・避難訓練を実施しています。その時、どう行動すればよいかをこの訓練時に真剣に考えてください。幸い、本学の施設は耐火構造になっているため、火災の心配は、ほぼありません。地震発生時には、身の安全を確保して、各種の指示に従って、冷静に行動してください。



防災管理者  
財務管財部長  
竹田 浩康

## 災害用設備・備蓄品

災害時の安全性はもちろん、災害後も避難場所として学生が安心して過ごせるよう、建物の補強に加え、非常食や生活用品などの備蓄管理を常時行っています。

### 耐震補強工事

**POINT** ▶ その他にも、震度5以上で作動する緊急地震速報・FM緊急警報放送対応ラジオを各部署に設置、家具転倒防止対策などを実施しています。

耐震天井



大学会館食堂

天井直付け照明



鉄骨ブレースの設置



教育学部棟

### 備蓄品

**POINT** ▶ 星が丘キャンパス3カ所、日進キャンパス1カ所に備蓄倉庫があり、1次(発生時～24時間)用に1日分、2次(発生時24時間後～72時間)用に2日分の備蓄品を保管。定期的に入れ替えを実施しています。



区分	品名
食 品	非常食(ご飯、おかず、クッキー)、飲料水
生 活 用 品	簡易トイレ、生理用品、毛布、ガスコンロ・ボンベ
安 全 保 護 具	軍手、ヘルメット、タオル

# 防災教育

個人では難しい防災対策はみんなで一緒に。

梶大では、日頃の心構えや緊急時の対応法を学べる、さまざまな取り組みを行っています。

## 教養教育科目 安全学

南海トラフ巨大地震などを見据えた災害の科学的知識を学ぶとともに、災害時に的確な判断と適切な行動ができる実践力を習得。自身の安全を守るのはもちろん、いざという時、地域防災に貢献できる力を養います。



## 災害(地震)対応マニュアル

在学時、登校前に災害が起こった! どうしよう? そんな時のために、本学では学生向けの「災害(地震)対応マニュアル」を作成しています。入学時に配付されているので、もう一度確認してみましょう。マニュアルは本学Webサイトでも確認できます。

梶山 災害(地震)対応マニュアル [検索](#)



災害(地震)対応マニュアル

## 防災・避難訓練

災害時、全員が速やかに行動し、被害を防止・軽減できるよう、地震や火災を想定した避難訓練を毎年秋に行っています。避難ルートの確認や教員による学生誘導、避難完了報告など、一連の訓練を迅速に実施します。



## 防災講習会

本学の教職員を対象とした防災講習会を毎年実施しています。被災された方の講演などを通して大規模災害への知識と意識を高め、災害時に学生と自身の命を守る判断と行動ができるよう努めています。



# 日頃から 備えておきたい

# モ / コト

家庭で非常用持出袋を用意するように、個人でも必要なものをまとめておくとう便利。  
ここでは女性が備えておきたい防災ポーチをご紹介します。

## 日頃からバッグに 入れておきたいもの 〔防災ポーチ〕



参考：防災ガール

## 大学にいる時に大きな地震が発生したら

災害時に冷静な判断ができるよう、普段からあらゆる場面を想定しておきましょう。一人ひとりの意識が大切です。

一時避難場所マップ AED設置場所:  備蓄倉庫: 



### 星が丘キャンパス



### 日進キャンパス

- 1 学内放送と教職員の指示に従いましょう。
- 2 上記の指定の避難場所で待機しましょう。
- 3 協力し合って、救出・救護にあたりましょう。
- 4 教職員が行う安否確認(避難者の名前確認)に協力しましょう。

大学以外にいる時に震度6弱以上の地震が発生した場合は、①S\*map ②電話 ③災害用伝言ダイヤルのいずれかの方法で大学へ安否を報告してください(詳しくは「災害(地震)対応マニュアル」をご覧ください)。



## 研究室探訪

### 心理学科 | 安立 奈歩准教授

#### 臨床心理学は、 人間相手の実践学 座学だけでなく体験を重ねてほしい

専門分野は臨床心理学です。スクールカウンセラーをはじめさまざまな現場の心理臨床実践を経て、現在は、本学附属の臨床心理相談室の相談業務にも従事し、個別の相談にじっくり応じています。小中学校の巡回相談では集団場面における児童・生徒の様子を観察し、教員に助言します。いわゆる“カウンセリング”と呼ばれる心理臨床は奥が深く、発達や心の病への知識はもちろん、相手のメッセージを五感で受けとめ、的確に言葉にするスキルが必要です。成長過程で起きる心身、家族関係の変容、困りごとを抱える児童・家族への支援、連携体制の構築について、実践と研究の毎日です。

ケースメソッドでは、箱庭や描画など非言語的な技法を用いたワークや傾聴トレーニング、学生が考えたテーマによる面接と質的分析のグループワーク、児童養護施設で子どもと関わる参与観察などを実施しています。卒論は、児童期から青年期の発達・適応・家族をテーマにしたものが多いですね。

臨床心理学は、人間相手の実践学。学生のみなさんには座学だけでなく体験を重ね、人間味のある人になってほしいです。

#### PROFILE 安立 奈歩准教授 Naho Adachi

京都大学大学院教育学研究科研究指導認定、博士(教育学)取得。臨床心理士。兵庫教育大学学校教育学部・大学院学校教育研究科助手を経て、2007年4月から本学人間関係学部心理学科に着任。

#### MY FAVORITE

##### 【院生仲間と 楽しんだ登山】

京都にいた頃、大台ヶ原、比良山、六甲山などに登りました。長く単調に見えて味わい深い山あい、登頂の充実感は心理臨床実践と似ています。



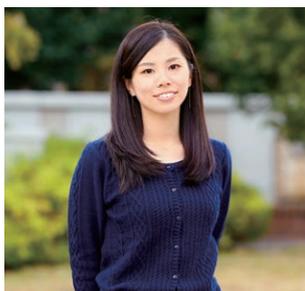
##### 【育児グッズ】

居酒屋が好きで、外出の多かった生活が、出産を機に激変。育児と仕事の両立は分刻みです。



##### 【体調管理のヨガ】

アクロバティックなポーズをキメているのはヨガの先生。その娘さんが椋山女学園高校出身で、人間関係学部の学生と判明。世間は狭い!



心理学科4年 古川 歩夢さん

#### 安立ゼミ Student's VOICE |

##### 心理学を学び、人の心に寄り添える人に

臨床心理学に興味があり、安立ゼミを選びました。3年生のケースメソッドの授業で、児童養護施設の子もたちと関わるようになったのがきっかけで、親子関係と子の自尊心について研究しています。

ゼミでは、わからないことがあれば協力して教え合うなど、みんな仲が良いです。安立先生は、研究についての確かなアドバイスをくださるだけでなく、就職活動や試験など、一人ひとりの状況を踏まえ、サポートしていただけます。

今後、就職先では、人の気持ちを理解できる人になるよう努力し、人の心に寄り添う仕事をしていきたいです。将来的には、管理職に就き、社員の気持ちを汲み取り、女性が働きやすい環境を作っていくことに貢献したいです。



### 自分にしか表現できない漫画を

兄の影響で漫画と出会い、小学3年生で少女漫画雑誌「ちゃお」を読み始め、模写をするようになりました。特に好きだった中原杏先生の「きらりん☆レボリューション」は、単行本を1冊丸ごとノートに写し、その絵を家族や友達に見せては褒めてもらうことがうれしくて、将来は漫画家になろうと決めました。

中学3年生の時には、漫画雑誌「月刊Gファンタジー」の「ほぼ8マンガバトル」に応募し、初めて作品が掲載されました。その他、今までに「スクウェア・エニックスマンガ大賞」で奨励賞2回、佳作1回を受賞。また、アニメ「おそ松さん」やゲーム「刀剣乱舞」などのアンソロジー（商業誌）に参加し、昨年2月には、月刊Gファンタジー3月号にて、念願の読み切り「BITE×BITE×VAMPIRE」が掲載されました。最近は、「キャラクターを魅力的に描くこと」と「物語に深みをもたせること」に力を入れ、自分にしか表現できない漫画を模索しています。

BITE×BITE×VAMPIREの刷り出し(左)とペン入れ練習の様子(中)。絵を描くだけでなく、ネーム(コマ割)を考えることも大切な作業です(右)。



### 読者の視点を知り、作品づくりに生かす

「親が子供のすべてを理解できないように、作者も自分の作品のすべてを理解してはいない」。授業中に聞いた先生のこの言葉がとても印象に残っています。表現文化学科に入学し、本を読む環境に恵まれたことは、一番の収穫でした。読者の立場で作品を研究することで、その読み解き方を知ることができます。また、さまざまなジャンルに出会うことで、作者としての視野が広がり、漫画に生かせるのではないかと欲求が膨らみます。その他にも、アニメやファッション、外国文化など、さまざまな事柄に関心をもった友人が周りにもいることもこの学科のおもしろいところ。会話の中で多彩な情報を得ることができ、アイデアの幅が広がることは、作品づくりの刺激になっています。将来の夢は、漫画家として連載を持つこと。多くの人に読んでもらえる漫画を描いていきたいです。

(取材:新聞報道部 杉本 帆乃香)



最近は、漫画制作ソフトを使用して、フルデジタルで描いています。



学部イベントの案内ポスターを制作しました。

# CLUB INTRODUCTION

## 軟式野球部



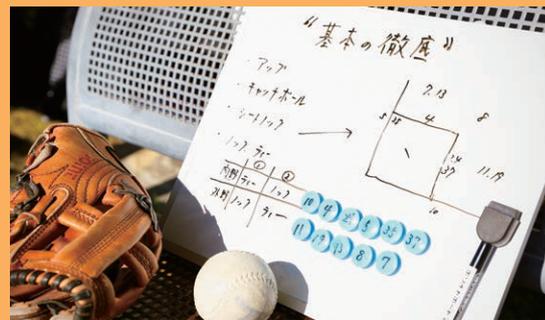
### 限られた練習時間を味方に

東海地区の6大学が参加して行われた第30回東海地区大学女子軟式野球秋季リーグ戦で、2016年に初優勝を果たした軟式野球部。現在、部員12名が、毎週土曜日に日進キャンパスのグラウンドで練習を行っています。週1日という限られた練習時間を大切に、それを補うための個人練習やトレーニングを自発的に行うため、部員全員が高いモチベーションを維持できるよう心掛けています。「みんなで楽しく野球をすること」を目標に、欲張らずに出来ることに集中する。そうして積み重ねた練習の成果を発揮し、試合に勝ったときには、大きな喜びを感じることができます。

### チーム一丸となって戦う

野球経験者やソフトボール出身者がいる一方で、チームの約半分は初心者。そのため、経験者が積極的にアドバイスをするなど、部員同士で教え合いながらチーム全体のレベルアップを目指しています。部員が12名と少なく、試合形式の練習ができないなど、不利な点もありますが、少ない人数だからこそ、学年の壁を越えて仲が良く、チームが同じ目標に向かってひとつにまとまる強さがあります。「人数が少ないからこそ、経験の有無に関わらず、チーム一丸となって戦っていきたい」、部長の大楠千裕さんは、試合に対する意気込みをこう語ります。練習中、仲間を思いやる声かけが絶えることがない「チーム一丸」が強みのクラブです。

(取材:新聞報道部 高橋 奈央)



トヨタ自動車野球部出身の岡本幸夫監督が、その日に伝えたいことをホワイトボードに書き出し、チームの想いとして共有し、練習に臨みます。



学部学科学年を越えて仲が良いです。メンバー大募集中です!



## イベント

### 第56回 梶大祭を開催しました

10月21(土)・22(日)、星が丘キャンパスにて第56回梶大祭を行いました。両日ともに台風の接近に伴うあいにくの空模様の中での開催となりましたが、多くの来場者で賑わいました。今年のテーマは「CIRCUS」。梶大祭に関わる全ての人と賑やかに楽しい時間を共有し、笑顔を咲かせたいという想いが込められています。

毎年恒例の各サークルやゼミによる模擬店、お笑いライブなど、ステージ企画は終日盛り上がりを見せました。また、学生と企業によるコラボ商品の販売やコラボ企画の実施にも多くの来場者が訪れました。このほか、卒業生が母校に集う「梶山ホームカミングデイ」も同時に開催。2名の卒業生による講演会やティーパーティーを実施しました。2日目は、台風の接近により、午後から全ての企画が中止になってしまいましたが、教育学部有志によるアイドルグループの歌とダンスの披露などは行われ、悪天候の中、大学祭を精一杯楽しんでいました。



## イベント

### 作家 森見登美彦さんをお招きし、活字文化公開講座を開催しました

本学と活字文化推進会議が主催する「活字文化公開講座」が、11月22日(水)に開催され、在学生および一般参加者およそ300名が参加しました。

本学で6回目の開催となる今回は、作家の森見登美彦さんをお迎えし、「妄想と創造～ファンタジー小説の魅力～」と題したトークセッションを行い、本学文化情報学部の福永智子教授がコーディネーターを務めました。

小学生の頃から小説家になりたかったという森見さんは、2003年に「太陽の塔」で第15回日本ファンタジーノーベル大賞を受賞し作家デビュー。以来、「夜は短し歩けよ乙女」「【新釈】走れメロス 他四篇」「有頂天家族」など、数々のヒット作を生み出しています。その中で、森見さんは、常に「世界を広げよう」という意図を持って制作に取り組んでいると語り、アニメーション映画化されたことで、可能性が大きく広がった作品として「夜は短し歩けよ乙女」を挙げました。質疑応答では、将来、小説家を志望する若い参加者から多くの質問が寄せられ、自身のエピソードを交えながら応えていました。



## イベント

### インターンシップ報告会を開催しました

11月25日(土)星が丘キャンパスで平成29年度インターンシップ報告会が開催され、3年生を中心に学生約250名と61社79名の企業・団体の方々が参加しました。

この報告会は、インターンシップでの経験を他の学生や企業・団体と共有することで、今後のインターンシップに役立てることを目的として毎年開催しています。今年度はインターンシップに参加した学生を代表して、8名が実習内容や学んだことを発表しました。

報告会に参加した学生は、「参加しなかった企業の事業内容を知ることができた」など報告会を通して新たな発見を得た声があったほか、「インターンシップへの参加はもちろん、大学プログラムでの事前・事後指導が本当に役に立ちました。インターンシップへの参加はこれからの就職活動での確かな財産になりそうです」といった報告会の意義を語りました。

その後に開かれた懇親会では、学生と企業・団体の方々とが交流し、今後へのアドバイスをいただくなど、実りある機会となりました。



## 名古屋市千種保健所と連携し、手軽に野菜を摂取できる朝ごはんレシピを考案。 榎大祭で提案・販売しました

**本**学では、名古屋市千種保健所と協力して名古屋市食育推進計画に参加しています。本年度は、管理栄養学科 栄養教育論・応用栄養学研究室の学生が手軽に野菜を摂取できる朝ごはんレシピ「野菜de朝ごはん」を名古屋市千種保健所と考案し、10月21日(土)の榎大祭で提案・販売しました。

この取り組みは、名古屋市食育推進計画でも課題となっている「野菜摂取量の増加」「朝食摂取」の改善を目的に、レシピを提案するものです。今回、愛知県の野菜摂取量が全国に比べて少ない一因に朝食の摂取方法があるのではとの考えのもと、野菜を主な材料とした手軽に作れる朝ごはんのレシピを試行錯誤の末、考案しました。

レシピは「もちじゃき!れんこんサンド」「チーズinきんぴらケーキサレ」「もぐもぐトマトスープ」の3種類。榎大祭では3品1セットで販売し、レシピカードも配布しました。



## 学生制作のイルミネーションが、東山動植物園もみじ祭り「紅葉ライトアップ」を盛り上げました

**東**山動植物園(名古屋市千種区)で開催されたもみじ祭り「紅葉ライトアップ」に、生活環境デザイン学科4年生の橋本莉緒さんと鈴木香奈さんが制作したイルミネーションが展示され、イベントを盛り上げました。

毎年恒例となったこの取り組みは、生活環境デザイン学科の学生の卒業企画として、東山動植物園の魅力向上を目的に、イルミネーションの企画制作と、ワークショップのプロデュースを行っています。11月17日(金)に行われた点灯式には、森棟公夫学長と、学生の指導を担当した雨宮勇教授が出席し、イルミネーションの説明などを行いました。

今回のライトアップのテーマは、「歴史の実る木」。2017年、開園80周年を迎えた東山動植物園のキャラクター「ズーボ」で数字の80を表現し、その歴史をそびえたつ木で表現したデザインとなりました。9月から企画を開始し、制作期間1ヶ月を費やしたイルミネーションに、集まった人たちは見入っていました。



## エアライン業界セミナーを開催

**12**月14日(木)、国際コミュニケーション学部が「SUGIYAMAエアライン業界セミナー」を開催し、40名以上の学生が参加しました。

このセミナーは、エアラインシンポジウム、学外エアライン研修に続く、エアラインサポートプログラムの第3弾で、今年度が3回目の開催となります。エアライン業界の採用担当者を招き、業界の現状やグランドスタッフの業務内容・特色、求められる人物像などについてお話を伺い、将来の進路選択の一助にして欲しいと同学部が企画しています。

今回は昨年度に引き続き、株式会社ドリームスカイ名古屋の総務部鈴木悠子氏にお越しいただき、航空会社とハンドリング会社の関係や同社が求める人材像などについて説明していただきました。

鈴木氏からお話を伺った後、同社に内定している学生2人から、エアライン業界をめざす後輩たちに対して就職活動の経験が語られました。参加した学生らは、「インターネットでは入手できない情報を知ることができて、とても勉強になった」と語り、エアライン業界の知識を深める絶好の機会となりました。



## 現代マネジメント学部で、東海地方の大学初となる金融庁等の協力による講座がスタート

**現**代マネジメント学部で東海地方の大学では初となる「金融庁等の協力による金融リテラシー講座」がスタートしました。講座名は現代マネジメント実務研究A(地域・公共)(担当:植林 茂准教授)。金融のグローバル化が進み、金融商品や金融機関のサービスが多様化・複雑化する中で、国際的にみて大学生が習得すべき金融リテラシー(金融について最低限身につけるべき知識・判断力)を身につけることを目標とします。講座では金融庁、金融広報委員会、各金融関係団体等、金融の第一線で活躍している専門家・実務家が、毎回、それぞれの専門分野について分かりやすく講義を行うことで、大学生レベルにおいて必要な金融知識を身に付けていきます。

第1回目となる9月21日(木)の講義では、植林准教授がリーマンショック以降、国民の金融知識を引き上げることが重要であるという意識から先進国を中心に金融教育に注目が集まっていることなど、この講座の導入の背景を説明。その後、金融庁 総務企画局 政策課 課長補佐の本田幸一氏が「導入ー金融経済教育の重要性」として、学生生活とお金、人生とお金、社会とお金をキーワードに同講座に必要な基礎知識を全般的に解説。その上で全15回にわたる講義の知識が学生自身の人生にどのように生きてくるかを説明されました。



## 「卒業生と教員との懇談会」を開催

**11**月25日(土)、看護学部が卒業生を招き、「卒業生と教員との懇談会」を開催しました。

この懇談会は、看護職として社会に巣立った卒業生を招き、社会での活躍を喜び合うとともに、卒業生たちの交流促進を図り、看護職としての就業継続支援のために開催しています。今回は、2期生から4期生までの卒業生と教員が参加し、旧交を温めました。

会では食事を楽しみながら歓談のほか、昨年3月に卒業した4期生たちにアンケートを書いてもらい、先輩や教員がアドバイスを送る企画を実施。「1年目ということで患者さんに不安がられることがあるが、どうしたらいいのか?」など看護職1年目の悩みに、「悩みを共有できる職場の同期との時間を持つことが大事」など先輩たちが自身の体験をもとに回答しました。また、「いつまで大学の先生に頼っていいですか?」との教員への質問には、「続けていけばいだけ悩みは出るもの、いつでも大丈夫です。期限はありません」という心強い言葉が送られるなど、卒業生にとって、大きな励みとなる会になりました。



## 第13回椋山大運動会を開催

**11**月4日(土)、椋山大運動会を開催しました。今回で13回目を迎えるこの運動会は、「椋山サバイバル研究」(演習IV:藤原直子担当)のスポーツレクリエーション班が中心となり、プログラム作成からゼミ生の役割分担、運動会グッズの調達など、企画・準備・運営を行っています。また、教育学部の学生もプログラム運営に参加、文化情報学部の学生が運動会の撮影・編集を担当するなど、学部協同の運動会となっています。

毎年、OGが子ども連れて参加したり、本格的な音響を準備したりと運動会を盛り上げており、学部・学年を越えたつながりの場となっています。学部生のみなさん、来年の参加をお待ちしています!



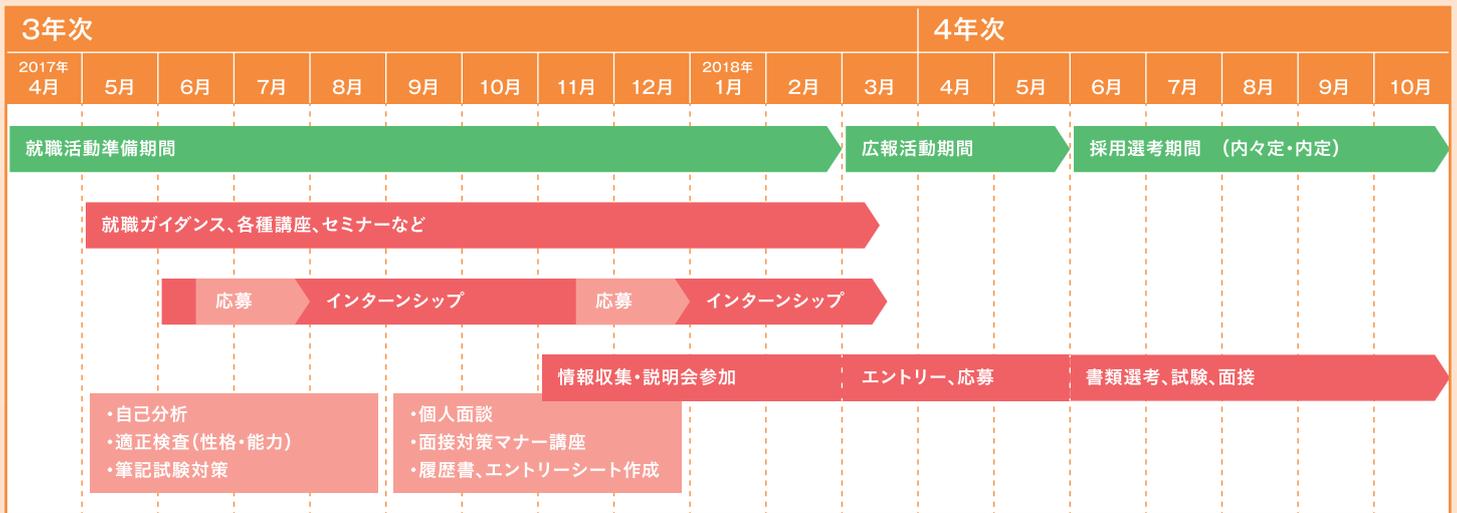
# 就活 NOW!

就職活動に関する情報をお届けします。

2019年3月卒業予定の大学生の就職活動スケジュールは、前年同様、3月に「企業説明会解禁」、6月に「採用選考解禁」の日程になります。日本経済団体連合会(経団連)は、2020年3月卒業以降の就職・採用活動についても、数年は現行の日程を維持するとしており、同様のスケジュールとなる可能性が高いと考えられます。

目で見ると

## 新4年生(2019年3月卒業予定)の就職活動スケジュール



## 新3年生(2020年3月卒業予定)は将来について考えてみよう

就職活動では、授業や部活動、アルバイト、ボランティア、留学など、皆さんがチャレンジし、努力してきたいろいろな経験をもとに、自身の強みや価値観を企業に伝えます。キャリア支援課では、皆さんが自分の言葉でそれらを伝えられるようにさまざまな支援をしていきます。就職活動が始まるまでに、年齢や立場にとらわれず人と意見交換をしたり、興味のあることに挑戦するなど、将来について考えてみましょう。

### キャリア育成センターを活用しよう

キャリア教育を担当する学部教員とキャリアカウンセラーの資格を持つ専任職員が、個別相談を基本に、学生の興味・関心・適性に応じたキャリア形成をサポートします。

#### 就職に強い指山の特長

##### 相談力

##### 個人面談を重視

3年生の初回面談で各人の就職活動の進め方の確認を行い、その後は要望に応じて、自己紹介書の添削や履歴書の書き方、模擬面接など個別に対応します。

##### 情報力

##### 先輩がみなさんを応援

先輩たちが内定先の選考活動状況を綴った「就職活動報告書」など、役立つ情報を長年蓄積。「OG交流会」や「内定者報告会」など、先輩から直接話を聞く機会も設けています。

##### サポート力

##### 各種プログラムを用意

右記の就職ガイダンスをはじめ、「マナー講座」「グループ面接・グループディスカッション対策講座」など継続的な各種サポートプログラムを開催。筆記試験が心配なら、「web講座」や「筆記試験対策講座」の受講をお勧めします。

### 就職ガイダンススケジュール

(3年生対象:2017年度実績)

回	期間(予定)	内容
1	5月中旬	就職活動の進め方、自己分析について
2	6月初旬	筆記試験の種類と対策
3	7月初旬	個人面談、業種・職種・業界研究について
4	10月中旬	マナー講座・先輩の活動体験
5	11月初旬	企業の見方について
6	11月下旬	自己紹介書の書き方・求人票の見方講座
7	1月中旬	履歴書の書き方講座

# 私の就活奮闘記



人間関係学科 4年 上村 萌衣さん

## 東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社(総合職)内定

「人の心を動かさなければ、人は助けられない」。これは、私が難民支援機関である国連UNHCR協会で、ファンドレイザー\*として難民問題に対する関心を広める活動をしてきた中で感じたことです。さらに、人を助けるためには、資金調達が必要となり、お金が行動を起こすための土台になることを実感。お金の先には必ず人がいるということに魅力を感じ、金融業界に進むことを決めました。 ※NPO団体の資金調達活動を担う人

## HISTORY 上村さんの内定までの道のり

【ほんやり時期】	大学3年9月	<b>■ 東京海上日動火災株式会社のインターンシップに参加</b> この時期に、インターン選考で、グループワーク、集団面接、個人面接を実施する企業は少ないので、選考過程もとても良い経験になりました。
	大学3年秋～2月	<b>■ キャリア支援課主催の就職ガイダンスなどに参加</b> 各種ガイダンスやOG就職交流会などに参加することで、多くの情報を得ることができ、互いに励まし合える良き仲間と出会うこともできました。ぜひ、キャリア育成センターを積極的に活用してください。
	大学3年3月	<b>■ 自己分析、説明会参加</b> さまざまな業種の説明会に参加することを心掛けました。希望していた金融業界は、すべての業界とつながっているため、情報収集の場にもなりました。 また、キャリア支援課の協力のもと、自分史の作成や自己分析に取り組みました。
【奮闘時期】	大学4年4月	<b>■ エントリー開始!</b> 説明会に参加した際、企業担当者にお声がけいただき、リクレーターをつけてくださる企業が数社あったため、エントリーは8社程度に絞りました。 <b>⇒リクレーターとは?</b>
		<b>■ 内々定をいただく</b> 他の企業の採用選考も残っていたので、6月まで就職活動が続けることを決意しました。
	大学4年6月	<b>■ 数社から内々定をいただく</b>
【決定】	大学4年6月	<b>■ 東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社に内定</b> 内々定をいただいた企業の方々と話し合いを重ね、最終的に就職先を決定しました。

### ⇒リクレーターとは?

企業が優秀な学生を早期に絞り込むために行う活動で、金融業界では活発に行われている。採用活動を補助するリクレーターと面談を行い、そこで高い評価を受ければ、本選考で有利になることも。まずは、企業の説明会等で積極的に自分をアピールし、相手に興味関心を示すことが、リクレーターについてもらえるカギとなる。

### 私の応援団

#### コーヒーマーカー

疲れたときや考えが煮詰まったときの必須アイテム。おいしいコーヒーを入れて、家族とたわいもない会話をしている時間が支えとなりました。

### MY POINT

#### おいしいものを食べる

企業説明会や面接などで、普段行かない場所へ足を運ぶ機会が増えたため、毎回おいしいものを探して食べに行くことを楽しみにしていました。

## 後輩へのアドバイス

合同説明会、面接試験などがある日は、「今日はどのような人と出会い、どのような話を聞くことができるだろうか」と考えることが私の楽しみでした。就職活動は、自分以外の人の経験や考え方を一度に多く知ることができる、また、自分と向き合える良い機会です。本気で取り組み、「これだ!」と自分が納得できる結果を見つけてください。

## 社会連携センター

社会連携センターでは、学生のみなさんの資格取得や国家試験合格に向けてサポートする「キャリアアップ講座」を用意し、より充実した学生生活、スキルアップを応援しています。  
新年度、何か新しいことに挑戦してみましょう。

### 梶山オープンカレッジ

在学生のキャリアアップに

各講座の詳細は、「梶山オープンカレッジ冊子」または「Webサイト(「梶山オープンカレッジ」で検索)」をご覧ください。

## 梶山 オープンカレッジ 2018

在学生のみなさんに  
おすすめする  
前期開講講座のご紹介!

### TOEIC®テスト対策

グローバル化が進む中、TOEICのスコアは企業の採用試験など、あらゆる場面で必要とされています。TOEICを初めて受ける人から600点を目指している人を対象に、自分のレベルに合ったクラスで目標スコアをめざすことができます。

★7月中旬、学内でTOEICテスト実施予定

開始日 5/7(月) 申込締切日 4/18(水)

受講料 27,800円(教材費込)

### 毎日、英会話 コミュニケーション

毎日「40分」空き時間に星が丘キャンパス内で外国人講師と英会話レッスンができます。英語でコミュニケーションをとり、気持ちを伝える楽しさに加え、他学部の学生との交流もできます。

★4月上旬、社会連携センターにて講座の説明会+ミニレッスンをを行います。

開始日 5/7(月) 申込締切日 4/19(木)

受講料 136,500円

### 秘書検定 2級・準1級 対策

合格報奨金  
対象講座  
(準1級 ¥5,000)

ビジネスマナーや一般常識を習得し、自信をもって就職活動に臨める準備をしましょう! まずは2級を、そして準1級をめざしましょう。  
★講座受講生は、6月に学内で開催する検定試験を受検できます。

開始日 2級 5/1(火) 準1級 5/9(水)

申込締切日 2級 4/16(月) 準1級 4/19(木)

受講料 2級 23,200円(教材費別)  
準1級 28,400円(教材費別)

### Microsoft Office Specialist 2016受験対策

Microsoft Office Specialist(MOS)は基本的なパソコンの活用スキルを証明できる資格です。この講座は夏季休業を利用して短期集中で実施します。夏休みの間にWord、Excelを使いこなすスキルを身につけ就職活動でもアピールしましょう。

開始日 8/7(火)ほか 申込締切日 7/12(木)

受講料 32,600円ほか(受験料・教材費込)

### 公務員試験対策

地方公務員や国家公務員などをめざす人気のスタンダードコース「総合本科生」と、専門試験なしで受験できる市役所や国立大学法人などをめざす人向けのコース「教養型市役所本科生」を用意しています。目的・目標に合わせてコースを選択できます。

※この講座はTAC名古屋校にて実施します。

開始日 お問い合わせください

申込締切日 各受講開始日の7日前

受講料 153,000円ほか

### 教員採用試験対策

「一般教養」対策の講座を用意しています。出題率が高い主要5教科(国語・数学・英語・社会・理科)を中心に取り上げ、本試験対策を行っていきます。

★「先生」をめざしている全学部生が受講OKです。推奨学年:3年次(2年次も受講可能)

※専門分野の対策講座は後期に開講

開始日 5/9(水) 申込締切日 4/19(木)

受講料 25,800円(教材費別)

### 国家試験対策

- 「管理栄養士」
- 「看護師国家試験対策(基礎講座)3年生向け」

国家試験合格に必要な知識を基礎からしっかり習得できるようカリキュラムは学部の先生と相談しながら決めていきます。

※看護師4年生向けは後期に開講

開始日 管 8/20(月) 看 8/28(火)

申込締切日 管 7/30(月) 看 8/7(火)

受講料 管 36,000円(教材費込)  
看 20,000円(教材費別)

パンフレットは、  
社会連携センター、  
各学部の  
学生控室で  
入手できます!!



質問のみでもOK!

社会連携センター(星が丘  
キャンパス学園センター5階)  
にお越しください。

## “新加”する図書館!

さらなる利便性の向上を図り、図書館がプチリニューアルしました。みなさんが利用しやすい学習環境が続々と整備されています。小さな「新しい」が加わっていく図書館をぜひ活用してください。

### 2017年4月から開館時間を延長しました

**中央図書館** 平日 9:00~20:00 土曜 9:00~17:00

**日進図書館** 平日 8:40~18:30 土曜 8:40~15:00

長期休業中は開館時間を短縮します。開館時間は必ず、図書館Webサイトで確認してください。

#### 館内貸出用ノートパソコン増設



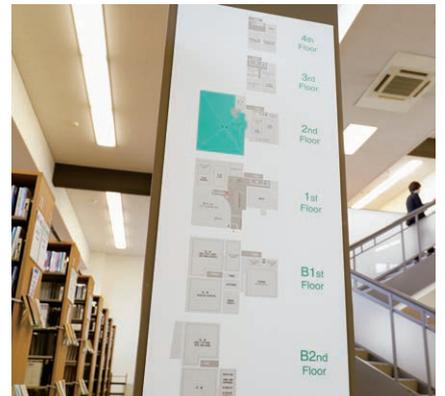
貸出用PCが増え、利用しやすくなりました。

#### 時間外返却ブックポスト設置



閉館時にいつでも図書の返却ができるようになりました。

#### 館内フロアサイン設置



館内の案内図を各階に設置しました。

### 中央図書館

#### 中央階段のLED化およびフロアカーペット敷設 地下2階のLED化



静寂空間である地下フロアへの入口と薄暗かった地下の書庫が明るくなりました。

#### 大型本shelfの補強・増設



2階の大型書架が新しくなり、設置スペースも広がりました。

### 利用者の声が届く図書館を目指して



図書館長 福永智子教授

昨年4月から業務体制を変更し、開館時間を延長することができました。学生の勉学の場として、空き時間を過ごす快適な空間として、職員が常在する図書館は、夜遅い時間帯でも安心してご利用いただけます。また、図書館では少人数であれば授業も可能です。中央図書館には3階グループワーク室4室(最大26名)、日進図書館には学習室(10名)があり、アクティブラーニング推進のため、今後、さらに授業で活用していただきたいと思っております。サービス面ではレファレンスサービスの相談件数が大幅に増加し、昨年度の10倍以上、5~7学部規模の私立大学平均を上回りました。情報探しならどんなことでも図書館にご相談ください。また、利用者のご要望を受け、英国図書館の文献複写・資料貸出サービスを再開しました。ライブラリーサポーターも健闘中です。今年から中央と日進で一体化し、スタンブラリー企画には、1,000名を超える学生が参加しました。今後も、利用者の声が届く図書館を目指して、サービス改善と情報開示に努めて参ります。どうぞ、ご要望やご意見をお寄せください。



## OG INTERVIEW

小さな命の大きな力に日々感動。  
NICUで自分を成長させたい。

看護師 香田 有里さん

「人の役に立ちたい」。  
心の声に素直に耳を傾けて  
選び、続けている仕事。

心身ともにハードなNICUの現場

私が勤務しているNICU(新生児集中治療室)は、早産、低体重や、何らかの疾患のある新生児を24時間体制でケアする場所。大人のように診療科が分かれていないので、全身のあらゆる疾患への知識が求められる上、赤ちゃんはわずかな刺激が急変につながることも多いので、常に高い集中力が必要です。また、ご家族の精神面をサポートするのも私たち看護師の役割。ご両親にとって、生まれたばかりのわが子に何らかの症状が見られることはとてもショックですし、中にはご自身を責めてしまうお母さんいらっしゃいます。そんな時は、さりげない会話から信頼関係を築いて不安な気持ちや看病の辛さを話してもらい、少しでも心が落ち着くよう励まし続けます。不思議なもので、ご家族が笑顔で保育器に近づくと、赤ちゃんの状態が良くなったり、笑顔になることがよくあるんですよ。時には悲しい結果に直面することもありますが、たとえそうであっても、小さな命の大きな生命力や、温かな家族愛に日々触れられる経験は本当に尊く、この仕事ならではの喜びだと感じています。

看護師は、なっぺからが本当の勉強

私が看護師をめざしたのは、高校2年生の時、楯大に新しく看護学部ができると聞いたことがきっかけでした。その頃、将来について漠然と「せっかくなら人の役に立つ仕事がしたい」と考えていたので、この学科に入って看護師が養護教諭になろうと思ったんです。名古屋大学医学部附属病院に就職したのは、現場での実習経験から。お世話になった看護師の方が患者さまをととても大切にされていたこと、新人へのサポート体制が充実していた点に惹かれ、ここでなら頑張れると感じました。入職1年目に内科、外科、ICU、オペ室など様々な部門を経験した後、2年目からNICUへ。「看護師は、なっぺからが本当の勉強」。大学時代、先生が何度も話されていた言葉を噛みしめながら、新たな症例や治療法の学習にも力を入れています。

# MUST ITEM

## メガネ

視力の良くない私。カルテの内容や薬剤・点滴のラベルなど、大切な情報を見間違えないよう、メガネが手放せません。



## 手紙

関わった患者さまやご家族からお手紙をいただくこともしばしば。名刺の裏に入れて、お守りのように常に持ち歩いています。



## ノート&バインダー

さまざまな病気や薬の知識をまとめたお手製のノートと、その日の患者さまの情報や仕事の流れがひと目でわかるバインダーは仕事の必需品。

# ADVICE



将来どんな仕事に就こう？私に合う職業って何？可能性がいろいろありすぎると、どうしたらいいかわからなくなりますよね。そんな時は、「人の役に立ちたい」「子どもと関わりたい」など、心の根っこにある最低限のラインはブレさせずに、いろいろな職業を調べたり、家族や友達に相談してみましょう。そうすれば「これいいかも！」と思えるものに出会えるはず。答えはきっと、自分の中にあるんじゃないのかなと思います。また「看護師」「管理栄養士」など明確な目標が定まっている人は、とにかく本気を出し切って。がむしゃらに頑張ってきた資格や成果は、一生続く自信となり、今後のあなたの人生を豊かにしてくれるはずですよ。



保育器の周りには赤ちゃんの状態を示すモニターや人工呼吸器など、数多くの医療機器が並んでいます。



総合実習終了後の打ち上げにて

## PROFILE

香田 有里さん Yuri Kohda

看護学部看護学科2014年3月卒  
名古屋大学医学部附属病院勤務

自主性と協調性を学んだ学生時代

梶大時代は、看護学部の1期生ということで、先生、学生ともに実習も国家試験も手探りの状態。何でもみんなで話し合い、「とにかく自分たちが道を拓かなきゃ、実績を残さなきゃ」と必死でした。でも、それがとても楽しかった。大きな実習が終わった後や夏休み前、忘年会など、何かと理由をつけては1期生全員で集まり、飲み会を開いたのもいい思い出です。そんな中で自然に身についた協調性は、医師や薬剤師など他職種メンバーとチームで治療を進める看護師の仕事に大いに役立っています。また看護学部の勉強はとてもハードな上、私はさらに養護教諭の授業も取っていたのですが、忙しい中でも時間をやりくりして2年次には念願のヨーロッパ研修にも参加しました。この切り替え力も仕事には重要で、就職後も毎年海外旅行を楽しみ、疲れをリフレッシュしています。そして何より今の私の土台にあるのは、国家試験に向かって仲間と一緒に全力で努力し、目標を達成できたという自信。この先どんな大変なことがあっても乗り越えられると思わせてくれる、私の一生の財産です。

# INFORMATION BOARD

## 平成29年度 ベストティーチャー賞

本学の教員の意欲向上と大学教育の活性化を図ることを目的に、顕著な成果をあげた教員に対して、その功績を表彰する「ベストティーチャー賞」。平成29年度は、文化情報学科の樋口謙一郎准教授が受賞しました。



## 寄付金による施設設備・ 教育充実事業

新入学生の保護者の皆さまにご協力をお願いしております「施設設備・教育充実寄付金」は、平成28年度に408万円のご寄付を頂戴いたしました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この寄付金(累積金を含む)を利用して、施設設備および教育の充実のため、平成29年度に、次の事業を実施したことをご報告いたします。

部門	事業名	支出額
生活科学部	冷蔵庫の買い替え (給食経営管理実習用)	584千円
国際 コミュニケーション学部	509室 プロジェクターの更新と デジタル化	1,277千円
人間関係学部	オープンスペース設置 デスクトップPCの更改	1,156千円
文化情報学部	教室用可搬型ICT活用教育装置	225千円
現代 マネジメント学部	学生控室のAV機器およびPC設置	1,250千円

なお、上記以外の学部については、平成30年度以降での事業を予定しています。今後とも、ご支援並びにご協力をお願い申し上げます。

理事長・学長 森棟 公夫

## 古本募金にご協力をお願いします



平成26年10月から開始された椙山女学園大学古本募金は、本学の卒業生、在学生、教職員などの大学関係者から提供された書籍等の古本としての買取金額が本学への寄付となり、全額を本学学生の奨学金に役立てる学生支援プロジェクトです。

皆さまのご協力により、平成26年10月1日から平成30年1月10日までに、772,268円(今年度は、208,876円)が集まりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。集まった寄付金は、本学学生の奨学金として活用させていただきます。

現在も、各学部事務室内にて募集しております。今後ともご協力をお願い申し上げます。

椙山女学園大学古本募金

検索

## 本学教員の新著紹介

渥美半島から文化の薫風を吹かそうと、国際コミュニケーション学部の小川雅魚教授が編集長を務める地域雑誌『渥美半島の風』。第3号の特集は、「海をみつめ、風をきく」。巻頭を飾る「抱きしめるオモイ」は、東日本大震災以来、福島の子息像を描き続ける画家の活動を追ったもので、読み巧者として知られる日本古書通信の編集長を「柄にもなく泣かせた」物語です。また、小川編集長は、世界的打楽器奏者である加藤訓子さんの追っかけ記を書いています。他にも半島の芸術家たちの活動を紹介する盛りだくさんの内容となっています。



『渥美半島の風』  
(第3号)  
平成29年10月15日発行  
96ページ  
1,000円(税込)

## Event Diary

3 March

(2月～) 春期インターンシップ実施(3/31まで)  
6日(火) オープンカレッジ前期講座受付開始  
15日(木) 卒業証書学位記授与式  
16日(金) 春季休業(3/31まで)  
27日(火) 在学生ガイダンス・健康診断(新4年生)  
28日(水) 在学生ガイダンス・健康診断(新3年生)  
29日(木) 在学生ガイダンス・健康診断(新2年生)  
31日(土) 新生オリエンテーション(国コミ、看護のみ)

4 April

2日(月) 新生オリエンテーション(4日まで)  
3日(火) 入学式  
5日(木) 前期授業開始

5 May

31日(木) 学園創立113周年記念式典

6 June

1日(金) 学園創立記念日  
16日(土) 秘書技能検定(学内実施)

7 July

10日(火) オープンカレッジ後期講座受付開始  
14日(土) TOEIC® Listening&Reading IPテスト(学内実施)  
25日(水) 前期試験開始

FORTUNE

あなたのお悩みを易学研究会がズバッと解決?!

## エキケンの手相占い



相談者  
現代マネジメント学部3年  
Mさん

**相談1** もうすぐ就職活動が始まりますが、まだ将来のことが具体的に決まっていません。向いている仕事はありますか？

Mさんは**運命線**がはっきりとしており、仕事をばりばりとこなすキャリアウーマンになるでしょう。手首に近いほうが濃く、次第に薄くなっているため、「先攻逃げ切り型」と言えます。若いうちにめきめきと頭角を現すでしょう。そのため、何事も早めに手を打つことで成功します。また、Mさんは小さめで柔らかい手をしていることから、考え方に柔軟性があり、人に合わせることができます。一方で、思い切ったことをやっける度胸と回転の速い頭脳もっています。そのため、職場の人と良い関係を築きつつ、周りをぐんぐんと引っ張っていく頼もしい存在になるでしょう。

手型をみると、四角型であるため、Mさんは与えられた仕事を早く器用にこなす力もっており、マニュアルどおりに働くことを得意としています。**知能線**をみると、横にまっすぐ伸びているため、計算高く、状況を判断する力があります。これらから、現実的ではっきりと答えが出るような、実務を重視する経理や総務などの事務系の仕事に向いています。

**相談2** 日頃から疲れやすいため、長生きできるか不安です。

Mさんは病気になるわけではないが、体が疲れやすいことが悩みとのこと。健康についてみることでできる**生命線**が長くはっきりしているため、突発的な事故がない限り寿命をまっとうします。また、病気になってもすぐに回復して元気を取り戻すため、長生きするでしょう。ただ、線の張り出しが小さいため、インドア派であることがわかります。健康上の問題はありますが、毎日体力づくりを行うことや、外に出る機会を少しずつ増やしていくことで充実した生活を送ることができるはずです。

Mさんの手相

手相は自分の利き手で診断してください。

### INFORMATION

春には体験入部を行っています。少しでも占いに興味のある方は、ぜひお越しください。  
大学祭では、手相・タロット・笹竹の3種類の占いをしています。一度、遊びに来てください。

相談者募集中。希望者はkouhou@sugiyama-u.ac.jpまで。

(占い著述:第29代部長 疋田 桃子、編集:加藤 主税名誉教授)



# MY BEST

## 「お気に入り」とは、心の贅沢

管理栄養学科  
加藤 昌彦教授

専門分野は臨床医学。新しいものを見たり聞いたり、感じるのが好きで旅行が趣味。南アメリカ大陸に一度は行ってみたい(他4大陸は制覇済み)。現在のマイブームは、美味、珍味の食べ歩き。どこまでも行きます。

本学に赴任後、出張等で新幹線の中で本を読むようになり、心のゆとりを感じるようになりました。ひとり静かに読書にふける時間は、自分にとってなんとも贅沢な時間です。

今では、時間が山ほどあった学生時代にもっと本を読んでいれば、もう少し大きな人間になれたのではないかと後悔しています。学生のみなさんは、今のうちに本を読む習慣をつけておくと、将来きっと「よかったな」と思うときが来ますよ。

## Best 1

小柴昌俊  
『心に夢のタマゴを持とう』  
講談社



2001年に臨床医から本学教員に赴任し、女子学生に満足のいく講義ができるだろうかと不安だった頃に出

会ったのがこの本でした。本当に相手に理解してもらえる講義がここにある、と目を覚まさせてもらった一冊です。

## Best 2

海堂尊  
『チーム・バチスタの栄光』  
宝島社



医療現場での日常の出来事を、これほど鮮やかに表現できるものなのかと感服・尊敬しています。頻繁に出てくる

医学専門用語も懐かしく読んでいます。海堂氏の小説は、すべて医学関連ですが、ほぼ読破しています。

## Best 3

池井戸潤  
『下町ロケット』  
小学館



弱小組織や個人が知恵を絞り、苦勞を重ね、最期には巨大組織や権力に勝利するといった池井戸氏の基本路線は、テレビドラマ「水戸黄門」的

で、わくわくしつつも、なんとなく安心して読むことができるところがお気に入りです。

## つぶやき投稿コーナー スギッター

# Sugitter

【投稿先】  
次号のテーマ「大学生活でワクワクすること」  
kouhou@sugiyama-u.ac.jp  
広報課まで

今号のテーマ 「春になったら始めたいこと」

卒業制作 N.Tさん

就活に向けて自分磨き K.Kさん

桜を背景にポトレ(写真撮影) C.Aさん

刺繍やカリグラフィー R.Hさん

自炊 C.Sさん

## 編集後記

皆さまにとっての「その時」はいつでしたでしょうか?本号が発行される3月で想起されるのは、今から7年前2011年3月11日の東日本大震災。現在の大学生が、小学生・中学生だった頃に経験した大きな出来事であったでしょう。当時、本学からも多くの学生が、個人、ゼミ、サークルなど、さまざまな形でボランティアに関わりました。現在、学内の授業や研究会でも、取り上げることがしばしばです。文化情報学部でもメディア情報学科産ゼミの長年の取り組みとして、震災を語る映像の制作が行われています。本号の特集でも取り上げられた防災の取り組みはもちろん、過去の災害を知ること、語ること、自分事として考え関わるのが、「正しく恐れる」第一歩になるのではないのでしょうか。(T.M.)

本誌についてのご意見・ご感想をkouhou@sugiyama-u.ac.jpにお寄せください。